

入港遅延プレジャーボート海難救助

平成27年10月6日夕刻、釣りに出たまま予定時刻になっても帰港しないプレジャーボートの情報があり、巡視船やまくには搜索のため出港しました。

深夜、通行船舶から国東市沖合で無灯火の小型船を発見したとの通報があり、現場に急行したところ、この小型船は入港遅延プレジャーボートであり、船内で船長が倒れていました。

すぐに潜水士を含む救助班により船長をやまくに運び手当を行いました。

その後、大分市消防局の救急車に引継ぎ、救助を完了しました。

プレジャーボートから倒れていた船長をやまくに搭載艇に移す作業中



船長は意識がいましたが、声を出すことが出来ず、潜水士はアイコンタクトで船長の状態を確認しました。

潜水士によるバイタルサインの確認

